

スマホやインターネットを上手に使おう

天気がよくない日の多い冬。外に出るよりも家の中でスマホやインターネットで何かを楽しもうという時間が多くなる時期かもしれません。また、秋田市全域から集まっています友達の家が遠く離れていることも多い本校の子どもたちにとっては、スマホやインターネットメールなどを使った友達との連絡・交流は欠かせないものなのかもしれません。

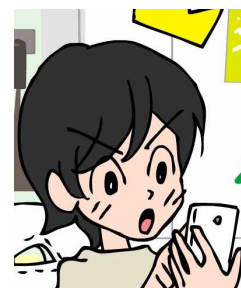


しかし、スマホやインターネットの普及により、全国的に子どもたちがトラブルに巻き込まれる事例が増加し、その対策が緊急の課題になっています。また、子どもたち同士でのやりとりから誤解やすれ違いが生じて、嫌な思いをすることもあり得る話です。これからの社会に出て行く子どもたちにとって、インターネットなどの活用能力は必須ですので、情報機器の利用は避けては通れません。学校では、日常的に情報モラルの指導を行っていますが、ご家庭ではいかがでしょうか。

スマホやインターネットに時間を使いそうな冬休みに前に、ご家庭での守るべきルール、マナー、危険から身を守るための注意事項をお子さんとともに確認し、安全で正しい活用について話し合っただけたらと思います。

◇気を付けたいSNSトラブル

一般的に、スマホトラブルでありそうなのがSNSトラブルでしょうか。SNSで悪口を書き込んだり、グループ〇〇からの仲間外れなどがあったりし、嫌な思いをする子どもたちがいるそうです。悪口のつもりでなくても、「遊ぼう？」に対して「無理！」と書き込んだことが、口で言う何倍も冷たく感じられて仲が悪くなるだとか、「大丈夫！」というどちらにでも受け取れる答えからすれ違うだとか、文字で伝えることには難しい部分もあります。SNSなどに写真や名前、メールアドレスを載せてしまって知らないところで勝手に使われてしまう問題や、電柱や建物、瞳に映りこんだ景色の写真から場所や個人が特定されてしまう事もあるそうです。



注意したいのが、ほとんどのSNSは小学生の使用を認めていない、ということ。X (旧Twitter)・TikTok・Instagram・YouTubeは、全てアプリ使用は13歳以上とされており、LINEでさえ利用推奨年齢は12歳以上となっているようです。SNSの利用に年齢制限があることを知らなかった保護者も多いという調査結果もあり、知らずに使わせている保護者の方も多いかもかもしれません。知ってはいたけど、みんな使っているから…と安易に考えていることもあるかと思いますが。



「使える年齢になるまでは禁止しましょう！」というわけではありませんが、本来なら使えない年齢のお子さんがSNSを使う場合は、保護者がしっかり管理や見守りをしてあげることが大切です。使わせるからには、時にはお子さんの書き込みをチェックするぐらいのことも必要ではないでしょうか。

東京都の資料を基にネット利用のしかたチェックをまとめてみました。これを基に、ご家庭での話題にしてみてもいかがでしょうか。それぞれのご家庭でのルール作りも進められたらと思います。

子ども用 ネット利用のしかたチェック

チェック内容	○印
スマホやネットを使う時間の長さや時間帯を家の人と決めている。	
迷惑メール・メッセージが来ても、無視して返事をしない。	
変なWebページが開いたら、すぐにそのページは閉じるようにしている。	
ネットショッピングやゲームへの課金を、家の人にはいしよできていない。	
家の人許可をとってからアプリや動画などをダウンロードをしている。	
動画や画像をアップロードしない、または、するときは家の人許可をとっている。	
SNSやブログなどに、個人情報（自分のでも友達のも）を書き込んでいない。	
パスワードを大切にし、他人のパスワードをたずねたり使ったりしない。	
チャットやSNSなどで初めての人にさそわれても、実際に会わない。	
SNSなどに悪口やうそ、事実であっても公表してはいけないことを書き込んでいない。	
困ったことがあったり、変なメールやページを見つかったりしたときは、家の人にすぐに話すようにしている。	

保護者用 ネット利用のしかたチェック

チェック内容	○印
情報モラルに関わる事件や課題について関心をもってニュースなどをチェックしている。	
子どもにスマホを与える前に、本当に必要かどうかよく検討し、使わせる場合はフィルタリングの設定や使用時間の制限をしている。	
パソコンは子どもだけで使う場所には置かず、家族の目が届く場所に置いている。	
子どもと話し合っ、スマホやインターネットを使う際のルールを作り、守らせている。	
ブラウザやフィルタリングアプリの「閲覧履歴」を定期的に見て、子どもがどのようなページを見ているか確認している。	
子どもにクレジットカード情報を教えたり、子どもにクレジットカード情報を見られるような場面を作ったりしていない。	
子どものSNS使用状況を定期的を確認している。	
子どものSNS等のパスワードを知っている（秘密にしていない）、または管理している。	
スマホやインターネットの使い方や、ネットに関わる事件について家族で話題にしている。	
子どもがスマホ、特にネットゲームやビデオチャット等をしている実際の様子をよく見ている。	
家族での会話を大切に、困ったことを子どもが話しやすい雰囲気を作っている。	

冬休みに入ります。年末年始の家族内での関わりや役割分担を増やし、家族の中での子どものやる気や存在感を高めていけたらと思います。お年玉の自己管理経験もよいお勉強。

リラックスするとともに、家族の中でたくさんお話をし、何かがんばれたことがあれば、冬休みが明けてもよい方向につながっていくものと思います。



文責：生徒指導主事（石田）